

① 自宅の災害リスクを確認

該当する項目にチェック「✓」

- 過去に家が浸水したことが
 ある ない

- 土砂災害
 危険区域内 危険区域外

⇒ 過去に浸水実績がある場合、
 土砂災害危険区域内にある場合
 は、自宅外への避難が原則



急な増水時など、避難所へ
 避難する方が危険な場合には、
 自宅内でより高く、より
 山から離れた部屋に避難する
 垂直避難が有効。

③ 情報の入手方法を確認

- 防災行政無線
 ※☎ 34-7800 で聞き返し
- 緊急速報メール(エリアメール)
- 市LINE
- テレビ(NHKデータ放送)
- IP告知端末
- ()

※市LINE、テレビのデータ放送の
 使用方法は裏面参照

④ 避難先を確認

避難を予定している避難先を記入しましょう。
 避難所での新型コロナウイルスへの感染も考慮して、
 できるだけ避難所での密を避けるため、**避難所以外の、
 災害リスク区域外に位置する親戚・知人宅等への
 避難(分散避難)も検討しておきましょう。**
 この災害・避難カードは、市内全世帯に配布して
 いますので、親戚宅等の災害リスクは、事前に確認
 しておきましょう。

② 避難のタイミングを確認

大雨が降り続いて、河川の氾濫や土砂災害の危険性が高まった場合、市役所からその危険性に応じて、「避難指示」や「高齢者等避難」が発令されます。
 皆さんの家庭の避難タイミングを下図で確認し、「我が家の避難タイミング」欄に「○」を記入し、その下に、①で把握した自宅の災害リスク(土砂災害・洪水)を記入しましょう。

	土砂災害	洪水 (四万十川)	避難情報	我が家の 避難タイミング
高	災害発生 又は切迫	災害発生 又は切迫	警戒レベル5 緊急安全確保	警戒レベル5は既に安全な避難 ができず命が危険な状況です。 警戒レベル4までに避難を済ませ てください。
危険性	土砂災害 警戒情報 紫メッシュ	氾濫危険 水位超過 津野川観測所 12.7m	警戒レベル4 避難指示	危険な場所から全員避難
低	土砂災害 警戒情報 赤メッシュ	避難判断 水位超過 津野川観測所 11.9m	警戒レベル3 高齢者等避難	高齢者にかかわらず避難に時間を要する 方は避難

※土砂災害メッシュ情報・河川の水位情報の確認方法については裏面を確認してください。

⑤ 避難に関する注意事項を確認

- 持ち出し品の準備は早めにする
- 増水した河川や水路に近づかない
- 動きやすい服装で避難する
- 食料や水など当面必要なものを持参して避難する
- 避難所までの避難経路を普段から確認し、危険な箇所を確認しておく
- 避難前、避難後に避難先などを連絡する相手や連絡先を決めておく
 (連絡相手 電話番号)

■ 市の避難所における新型コロナ対策

- ① 備蓄品(マスク・消毒液・体温計、室内テント等)の配備
- ② 運営マニュアルの作成
- ③ 避難所運営訓練の実施(R2.6.16)
- ④ マスクの着用・定期的な検温・健康状態の確認
- ⑤ 感染が疑われる場合は、別室への移動
- ⑥ 避難所以外の親戚・知人宅等への避難(分散避難)も検討いただく
- ⑦ できるだけマスク・消毒液等を持参いただく

皆さまのご理解とご協力をお願いします。



飛沫感染防止のための室内テント



訓練の様子

西土佐地区 (奥屋内)

大雨時開設予定避難所

旧奥屋内小学校

※土砂災害メッシュ情報
気象庁HPで確認できます
マキクル(危険度分布)



四万十市
ハザードマップ



Yahoo防災情報
(防災情報配信)



川の防災情報
(水位確認)



気象庁
(土砂災害情報
等確認)

防災無線放送内容確認
☎34-7800

市公式LINE
友だち追加



津大

奥屋内下集会所

西土佐奥屋内(下)

テレビデータ放送
NHK放送画面で
① Dボタン
② 防災・生活情報を選択
四万十市に関する各種防災情報を確認可能

浸水の深さ

- 10.0 ~ 20.0m未滿
- 5.0 ~ 10.0m未滿
- 3.0 ~ 5.0m未滿
- 0.5 ~ 3.0m未滿
- 0.5m未滿

浸水実績

- 四万十川 (平成17年台風14号)
- 岩田川 (平成28年台風16号)

土砂災害

- 土石流危険渓流 (被害想定区域)
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 地すべり危険箇所
- 土砂災害警戒区域 (土石流)
- 土砂災害警戒区域 (急傾斜)

四万十川、後川、中筋川の浸水想定区域図について

四万十川、後川、中筋川 (いずれも国直轄区間) について、河道整備状況及び、中筋川ダムの洪水調整施設の状況を勘案して、水防法の規定により指定された浸水想定区域図、浸水深等を示します。

概ね100年に1回の大雨(四万十川は600mm/2日、中筋川は550mm/2日、後川は560mm/2日)が降ったときのことを仮定して浸水状況を算定しています。

なお、支川のはん濫、想定を超える降雨、内水によるはん濫は考慮していませんので、浸水想定区域外においても浸水が発生する場合や、想定した水深が実際的水深と異なる場合があります。

問い合わせ先 四万十市地震防災課(35-2044)